

会 議 録

| | |
|-------------|--|
| 会議の名称 | 第4回 本庄市公共施設等マネジメント推進審議会 |
| 開催日時 | 令和6年3月28日(木) 午前・午後10時00分から 午前・午後12時00分まで |
| 開催場所 | 本庄早稲田国際リサーチパーク 4階 N406 |
| 出席者 | 審議会：小松委員、松浦委員、山崎委員、堀口委員、田中委員、 江原委員、中委員、藤倉委員、木村委員、飯野委員、 高橋委員、林委員 事務局：【企画財政部】内田部長 【企画課】橋本課長、鈴木課長補佐、荒井主任 【教育委員会事務局】笠原事務局長、武政参事 【学校教育課】岡芹課長、大澤課長補佐、松島主査 コンサル：東日本総合計画株式会社 喜渡、大山、松井 |
| 欠席者 | 審議会：織茂委員、高橋委員(本庄市PTA連合会)、吉田委員 |
| 議題 (次 第) | 1 開会 2 あいさつ 3 議題 ① 本庄市立小・中学校の教育環境の向上について ② 各公共施設の見直し方針(素案)について 4 その他 5 閉会 |
| 配付資料 | ・本庄市公共施設等マネジメント推進審議会 委員名簿 ・席次表 ・第4回本庄市公共施設等マネジメント推進審議会 次第 ・【資料1】本庄市立小・中学校の教育環境の向上について ・【資料2】各公共施設の見直し方針(素案) ・【資料3】「各公共施設の見直し方針(素案)」に関する詳細資料 |
| 主管課 | 企画財政部企画課 |

| 会議の経過 | |
|---------------|--|
| 発言者 | 発言内容・決定事項等 |
| 事務局 (企画課長) | <p>本日はお忙しい中、「第4回本庄市公共施設等マネジメント推進審議会」にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。私は進行を務めさせていただきます、企画財政部企画課の橋本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして、報告と配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>はじめに、本審議会の委員に変更がありましたので、事務局よりご報告させていただきます。</p> <p>本庄市PTA連合会より高橋委員、埼玉ひびきの農業協同組合より中委員、本庄市自治会連合会より藤倉委員、木村委員をご推薦いただきました。今後とも、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日、織茂委員、高橋義揚委員、吉田委員より欠席のご連絡を受けておりますので、ご報告いたします。</p> <p>次に、本庄市公共施設等マネジメント推進審議会規則第2条に基づき、本会議は公開といたします。同規則第3条の規定により、本会議の開催について、市ホームページで公表し、傍聴について本審議会の運営方法に基づき、定員数10名としてご案内したところ、1名の申込みがございました。</p> <p>なお、本日につきましては、非公開事項を有する議題はありませんので、傍聴者につきましては手続を行い、入室していただいております。</p> <p>なお、会議録作成のため、事務局にて本会議を録音させていただいております。あらかじめご了承ください。</p> <p>次に、配布資料の確認をさせていただきます。本日、机の上に配布させていただいたものとしまして、「本庄市公共施設等マネジメント推進審議会 委員名簿」、本日の会議の「席次表」、「第4回本庄市公共施設等マネジメント推進審議会 次第」、「資料一覧」となります。</p> <p>また、事前に送付させていただいた資料として、「【資料1】本庄市立小・中学校の教育環境の向上について」、「【資料2】各公共施設の見直し方針（素案）」、「【資料3】『各公共施設の見直し方針（素案）』に関する詳細資料」、以上、計6点でございます。</p> <p>なお、資料3につきましては、皆様に送付後、一部修正箇所がございましたので、本日、新たに印刷させていただいた資料を配布させていただいております。修正箇所につきましては、資料説</p> |

| | |
|---------------|--|
| | <p>明時に併せてご説明させていただきますので、ご了承いただければと思います。</p> <p>資料等の不足はございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(なし)</p> <p>ご確認ありがとうございます。報告や配布資料の確認につきましては、以上でございます。</p> <p>それでは、これより会議を開催させていただきます。</p> <p>ここからは、次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、本審議会の会長である小松会長よりごあいさつを頂戴したいと思います。</p> <p>小松会長、よろしくお願いいたします。</p> |
| 小松会長 | <p>年度末のお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>公共施設のマネジメントの問題というのは、全国至る所で同じようなことをされていると思いますが、実際にやろうとすると難しいことが出てきてしまい、困っている自治体もあると聞いています。</p> <p>本庄市は比較的うまくいっている方であって、これから具体的に施策を進めていかれることと思いますが、その際、様々なご意見が出てくることも予想されます。また、予算の問題など大変なことがあると想像しております。その際、皆様のご協力というのが欠かせないことになると思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは会議に入らせていただきたいと思います。</p> |
| 事務局 (企画課長) | <p>小松会長、ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第の3番「議題」に移ります。</p> <p>議題の進行につきましては、本庄市公共施設等マネジメント推進審議会条例第7条第2項の規定により、会長が議長となっていくこととなっております。これからの議題の進行につきましては、小松会長にお願いしたいと思います。</p> <p>小松会長、よろしくお願いいたします。</p> |
| 議長 | <p>会長が会議の議長を行うということでございますので、この後の議題につきましては、進行を務めさせていただきます。</p> <p>それでは、早速議題に入らせていただきます。議題①「本庄市立小・中学校の教育環境の向上について」、事務局から説明をお願いします。</p> |

| | |
|--------------------|--|
| 事務局 (松島主査) | (資料に基づき説明) |
| 議長 | ただいまの事務局からの説明に対しまして、ご意見、ご質問がございましたら、お願いします。 |
| 山崎委員 | <p>20ページに、「建物の機能を現在の学校が求められている水準まで向上」とあります。階数にもよりますが、例えばエレベーターの設置ということも考えられると思います。</p> <p>現在の機能水準に、そういったものが入っているかをお聞きしたいと思います。</p> |
| 事務局 (武政参事) | エレベーターの関係でご質問いただきました。こちらにつきましては、今後の大規模改修時に学校ごとに対応することになっています。それぞれ学校ごとに実用性を検討し、設置を検討することとしています。 |
| 議長 | <p>補足させていただくと、現在、学校にエレベーターを整備するというのは、障害者や車椅子対応というケースが多く、歩ける子どもたちがエレベーターを使うことは禁止していることも多いです。</p> <p>エレベーターの要否についてはバリアフリーへの対応をどのように考えていくのかということにも関わりますが、全ての学校にエレベーターを整備すると維持費もかかり、予算も圧迫することになりかねないので、学校の状況に応じて個別に考えていかなければならないと思います。</p> <p>ここで書かれているのは、今の学校の教育の方向や方針が、我々の頃から変化し、様々な用途の教室が整備されていることや、最近ではITに関する教育もあり、昔のように教室がただ並んでいるという環境ではなくなってきています。そういうところに、どのように対応するかが求められていると思います。このあたりは設計の課題にもなりますので、個別にやるのはなかなか難しいところがありますが、そのような点をご理解いただければと思います。かなり大規模な改修をしないと、新しい機能を追加することは難しいということをご理解ください。</p> |
| 事務局 (教育委員会事務局長) | <p>現在、市内の小・中学校でエレベーターが整備されていない学校の対応とすると、階段に自動昇降装置を設置しています。</p> <p>児童、生徒が骨折や怪我等で歩けない事例がありましたが、そういった事例が出てすぐにエレベーターの設置はできません。少し時間はかかりますが、車椅子を乗せて、そのまま自</p> |

| | |
|---------------|--|
| | 動で上がっていくという装置であり、そういった整備事例もこれまでありました。 |
| 議長 | ありがとうございました。他にご意見はございますか。 |
| 田中委員 | <p>先日、ある方からお孫さんが市内の学校に通っている中で、女子トイレが暖房便座になっていないと伺いました。「学校のトイレを使いたくない。冷たくて嫌だ。」と言っていたとのこと。教職員のトイレには暖房便座の機能があるということですので、その配慮をご検討いただけないかと思いました。</p> <p>子どもがちょっとしたことで学校へ行きたくないと思ってしまうともったいないので、せっかくウォシュレットなどの設備は近代化しているのに、片手落ちという感じがありましたので、意見としてご検討いただければと思います。</p> |
| 議長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>ご家庭で暖房便座を使っている子どもたちからすれば、無い方がおかしいとなるのは当たり前だと思います。それはなかなか気が付きにくいと思います。ご検討いただければと思います。</p> <p>私からも一点、統合の話と小中一貫校の話と両方書かれています。仮に小中一貫を促進、推進して、例えば1年生から9年生までの義務教育校みたいな形式にする場合、中学校と小学校に分かれている敷地を一体化するというような話も出てくるのではないかと思います。そうすると、前半に説明いただいた各小学校を統合するという話は、小学校の統合の計画だけ書かれています。そこに中学校を入れるとなると話が変わってしまう気がしましたが、その点についてはどのように想定されていますか。</p> |
| 事務局 (武政参事) | <p>まずは、各中学校区における小・中学校の立地状況に合わせた最適な小中一貫教育を検討していきます。</p> <p>小学校が散らばっている状況でも連携を図りまして、9年間を通したカリキュラムを編成して、9年間の小中一貫教育に取り組んでいくなど、できることから進めていきます。</p> |
| 議長 | <p>それはそれで良いのですが、やはり将来的なことを考えたときに、小・中学校の校舎は別という前提でいくのか、統合していくべきか、これは両方考えられると思います。</p> <p>校舎が別だと一貫教育であってもやれることには限界があると考えられ、小・中学校を一つの敷地にすることを決めたという自治体もあります。そういうことを想定するのであれ</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>ば、中学校を含めて将来のことをどうするか、学校の施設をどうしていくのかを検討していただいた方が良いかと思いません。</p> <p>前半に説明いただいたシミュレーションの結果は非常に重要で、それがないと先に進みませんが、もう一歩先に中学校をどうするかという部分はあると思いつながら聞いていました。</p> <p>まだ5、6年先ということですが、最初は令和13年の予定なので、時間があるようでそれほどありません。あと2、3年くらいでどうするか決めなければいけないですが、検討した上で中学校は別にするというのであれば、その状況での一貫教育の在り方を考えるということになり、選択肢が限定されますが、それを承知の上であれば構わないと思います。しかし、せっかく統合した後に、やはり一緒にとということが後から出てくると残念な話になりかねないため、そこを少し心配しています。</p> <p>まだまだ議論の時間があると思いますので、教育委員会でしっかり検討いただければと思います。</p> <p>他に、皆様からご意見やご質問はありますか。</p> |
| 堀口委員 | <p>行田市では小・中学校の20校を2034年度までに3校に統合するという方針を打ち出していますが、小松先生のお話を聞いていて、小中一貫校にする場合のことをもう一つの計画として、今の段階で作成してみてもはどうでしょうか。</p> <p>実際にやるか、やらないかという点は置いておいて、小中一貫にする場合はどういうことが考えられるのかという計画も、可能な範囲で練られてもいいと思います。小中一貫校にする可能性もあるわけですから、本庄市が小中一貫校を整備した場合はこういうことがやれるという計画を打ち出していただくと良いと思います。</p> |
| 議長 | <p>選択肢を増やすという意味で検討していく必要があるということは、私も同じ意見です。</p> <p>少し気になったのは、本庄西小学校が12学級となっており、一番児童が少ないですが、もう少し先へ行くと更に減ってしまい、単学級か複式学級になりかねないのではと資料を拝見しながら感じました。</p> <p>私は地域の実情に詳しくないので、何とも申し上げられませんが、そこは考慮しておかないと再検討することになってしまうのではないかと思います。</p> |

| | |
|---------------|--|
| 事務局 (武政参事) | <p>今後急激に児童の数が減っていくなどの可能性はあると思いますので、その際には見直しもあり得ると考えています。</p> <p>現状、推定される範囲での方針としては資料のように考えています。</p> |
| 議長 | <p>これは個人的な意見で申し上げますが、学校の教育の在り方も状況に応じて変えざるを得ないのではという気がしています。</p> <p>現在は学校という施設があって、そこに子どもたちが来て、みんなで勉強するというスタイルです。これは明治以降ずっとこのスタイルでやっています。人が少なくなって、過疎地や山の分校のように先生が一人、生徒が一人みたいな話も映画で見た記憶があります。我々が子どもの頃はそのような話を聞いて、仕方がないと思っていました。人口が一時期急激に増えて、再度、減り始めて一人だけでも学校へ行くような状況が復活しているような気がします。しかし、昔と同じような状況に戻ったから、昔と同じスタイルで続ければいいのかというと、それはまた違う気がします。様々なテクノロジーが進歩しており、特にIT環境、バーチャルリアリティ等、みんなが一緒にいなくても、それに代わるような工夫の仕方を考えられるのではないかと気がしています。バスを全面的に走らせることで、どんな遠くからでも人を集めるということ、これも一つの方法だと思います。もっと逆の発想をすると、学校の周りに皆さん住んでもらって子どもたちを通わせ、学校を卒業したらまた違う所に移ってもらうというように、住宅を準備して、家族ごと来てもらって学校に通ってもらうというような話を考えてもいいのではないかと考えています。実際やるとなるといろいろな話があってすんなり行く話ではないことは重々わかっています。そのような発想の転換をこれから考えていく必要があると思います。今までのやり方の延長で、とにかく子どもたちを集めるために学校を統合して、とりあえずはそれで良いと思いますが、さらにその先にその手法で解決しきれぬのかというのが少し気になっています。</p> <p>一番良いのは人口が増えることですが、それが難しい中で少し先の話も考えながらやる必要があると考えます。</p> <p>他に、ご意見、ご質問はありませんか。</p> |
| 松浦委員 | <p>25ページですが、ここで質問するのは少し外れているかもしれませんが、屋内運動場の体育館について、全国では地</p> |

| | |
|---------------|---|
| | <p>域によって地熱発電を利用しているところがあります。空調では風が出るので球技等に差し支えるということで、地熱発電を利用する屋内運動場を政府で進めているようで、これには相当の補助金が出ているとのこと。こういったご検討もしていただければ良いと思って質問させていただきました。</p> |
| 事務局 (武政参事) | <p>補助金等の活用方法を含めて、検討させていただきたいと思います。</p> |
| 議長 | <p>空調設備というと、クーラーは即効性があり、すぐに暑さを解消できるという利点があります。あまり議論に乗ってこないですが、断熱をきちんとすれば空調を大げさなものにする必要はありません。先ほどの質問は輻射冷房の話かと思いますが、通常は空気を温めたり冷やしたりして部屋の中の空気の温度を下げるということが一般的です。それ以外の方法、例えばパネルヒーター等は空気を温めるのではなく、赤外線が出て、それが体に当たることで暖かいと感じるという仕組みです。</p> <p>建物の断熱性を良くする利点の一つで、天井や壁の表面温度が変わります。何もないと、夏は恐らく体育館の屋根は45度から50度ぐらいになりますが、そのような環境下ではパネルヒーターを付けながら運動をしているようなもので、暑いのは当たり前です。断熱を上手く整備すると、それが気温と同じくらいの20度から30度程度まで下がり、体感温度が大分変わってきます。この辺の話は、専門家はごく当たり前知っている話なので、教育委員会としてはそういうことも含めて、断熱と空調をどうするか検討された方が良いでしょう。</p> <p>直ぐにエアコンを入れてしまうというのが現在のやり方ですが、もう少し慎重に考えた方が良いでしょう。教室に関していえば、使用されるのは昼間であり、人がいない夏休みもあるため、断熱をしてもあまり効果が出ない、お金の面でメリットがないという話もあります。ただし、体育館のように避難所に想定されていると、一日中人がいる状況もあり得るわけですので、そのような状況を考えると、エアコンや石油ストーブだけという暖房の方法は相当厳しいと思います。何故そういう状況になるのかということは、実際に現場にいる方では断熱に対する知識があまりないために、苦勞をかけてしまうこともあり得ます。必要時には段ボール等を使用し</p> |

| | |
|--------------------|---|
| | <p>て応急的に対策する方法もありますが、もう少し根本的に考えた方が良いとは思いますが。</p> <p>このような点については、専門家にご相談いただき、安直に空調を入れるということではなく、どのようにして環境を良くするかには様々な手法があることをお伝えさせていただきます。</p> <p>他に何かご意見はありますか。</p> |
| 中委員 | <p>10ページから、「本庄市の新しい教育環境の整備（素案）」として概ね基本的な部分があり、12ページから学校規模の適正化についての記載があります。率直な感想として聞いていただければと思いますが、この統廃合の中で、適正規模化をしていく上で、地域・自治会にも説明すると思いますが、物理的なメリット、デメリット、運営経費的なメリット、デメリットが見えてこない、この資料を読んで感じました。それを踏まえて基本的には統合することでのメリット、デメリットと将来的なビジョンとして、どういうところに予算を使っているかという一連の資料の説明が必要となってくると思いました。</p> <p>14ページ以降に学校を統合した場合の物理的な人数の話がありますが、その背景として、学校の老朽化の問題と通学距離の問題、今後、学校を運営していく上での問題などを結び付けていくと分かりやすい資料になると考えています。</p> |
| 事務局 (企画課長) | <p>議題①では、子どもたちの将来の教育のために小学校がどうあるべきかを説明させていただきました。この後、議題②の説明では、統廃合することによる財源等についても説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> |
| 議長 | <p>学校の話は適正規模から見た場合、数合わせみたいな話をよくされる方もいます。しかし、やはり子どもが主役ですから、子どもの環境を考えて、子どもが生活する環境をきちんと整えることを優先していることをご理解いただければと思います。</p> |
| 事務局 (教育委員会事務局長) | <p>「本庄市立小・中学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方（案）」の作成に当たって、本審議会に学校部会を作り、令和4年度に専門的に検討をしていただきました。</p> <p>実際に市内の小規模校や大規模校を視察に行ったり、学校の校長先生が委員に入っていたりする中で、子どものことが最優先で、教育環境を何とかしていこうと議論を進めて、何度も見直した上で作成されたものがこの考え方でございます。</p> |

| | |
|---------------|---|
| | <p>す。先ほど議長からもありましたとおり、数合わせという話も出ますが、基本的な考え方については現場の先生の意見や実際の学校規模の差などを踏まえた上で、委員の皆様にご議論していただき、導き出されたものとなっております。</p> <p>また、財源等の課題につきましては、企画課長が申しましたとおり、議題②で説明いたしますので、小・中学校の教育環境の向上については、あくまでも子どもが主役の中で、どうすれば子どもたちにとって良い学習環境を構築できるのかを検討した結果となっております。</p> |
| 議長 | <p>他に、ご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>それでは続きまして、議題②「各公共施設の見直し方針(素案)について」、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 (荒井主任) | (資料に基づき説明) |
| 議長 | <p>非常によく検討されていると思います。</p> <p>ご意見、ご質問はございませんか。</p> |
| 堀口委員 | <p>51ページに補助金の活用とありますが、学校や児童施設は大事なものですので、補助金の活用は必要だと思いますが、これからは補助金が出るからといって事業を実施する時代ではないと思います。</p> <p>国としても限られた財源なので、学校や児童施設などは良いですが、それ以外のものについては補助金が100パーセント出るわけではなく、大きい施設を建てれば何億円とかかるものなので、そのような点もこれから少し変えていかなければいけないというのが1点です。</p> <p>また、公民館や学校施設の跡地利用についてですが、私が最近考えているのは、学校施設の敷地は売却金額に拘らず、公売で不動産屋に売却して、そこに住宅施設を整備していただくという活用方法があるのではないかと思います。</p> <p>また、共和地区に複合施設を作るとありますが、共和地区には住宅を建てられる場所が少ない一方で、本庄早稲田の地区に近いということで非常に需要があるため、共和小学校跡地には住宅を建ててもらいたいです。確かに本庄市全体を考えた時に中心ではありますが、市の土地だから複合施設を作るのではなく、有効的に使えるように考えていただけたら良</p> |

| | |
|---------------|---|
| | <p>いと思います。</p> <p>また、藤田、仁手、旭地区ですが、33ページの藤田小学校跡地施設の下部に「要望等に応じて3地区施設の集約化などの検討」とありますが、これから住民説明を実施したときに、この3施設について藤田、仁手、旭の地区の方々に説明すれば、跡地には公民館や複合施設を作ってほしいというのは明確だと思います。私は秋平地区に住んでおりますが、秋平地区の住民は令和2年時点で1,506人、世帯数が163世帯、そこに本泉地区も入れると2,145人、867世帯ですが、私たちの小学校区には公民館はずっとありません。どこを利用するかといたら、セルディやアスピアこだまを利用しますが、それで充分です。小学校がなくなったからといって、跡地に公民館を作ってもらいたいということは思っていないです。仁手地区は、仁手、上仁手、下仁手、久々宇が仁手小学校区だとすると、人口は1,135人、世帯数260世帯です。そう考えると、秋平地区、本泉地区を足した数の2分の1ですので、その3つの小学校区に複合施設が必要なかは感じています。そのような点についても、真ん中の仁手地区に代表して作るということや、今後、17号バイパスができることによって、仁手地区の土地の価値が出てくる可能性も考慮して検討する必要があると考えています。</p> <p>また、やはり仁手公民館の利用者団体は少なく、増えてくることも考えづらいと思いますので、その3地域の小学校がなくなったときにどうしていくのかということは課題だと思います。</p> |
| 事務局 (企画課長) | <p>まずは補助金のご指摘については仰るとおりですので、その点については施設のコンセプトなども含めて、必要な点を見極めた上で費用面を抑えることを考えていかなければならないと考えております。</p> <p>次に2点目ですが、共和小学校跡地は住宅が良いのではないかとありますが、この複合施設は、現在、共和公民館が建っているところに小学校のプール、老人福祉センターつきみ荘、共和公民館を複合した施設を建設する予定です。小学校の方も統廃合によって跡地を検討していく必要がございますので、そちらについては民間売却ということも考えて継続的に状況を観察して検討してまいります。この複合施設ができることによって、住民の方々の需要も変わってくる可能性がございますので、跡地の活用方法については引き続き検</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>討していきたいと思います。</p> <p>3点目、公民館についてお話がありましたが、旭、仁手、藤田の3地区については、3つの施設を集約してもいいのではとのことですが、これにつきましては、今後、住民説明会で市民の皆様のご意見を伺いながら慎重に検討してまいりたいと考えています。</p> |
| 議長 | <p>この話は重要なことで、地域がどうなるかということは地域の方が一番心配されていることであり、要望もいろいろあると思います。ただ、堀口委員のご意見のように、全て聞いていたら膨らんでしまうということになりますので、そのバランスをどう取るかということがすごく難しいところです。やはり時間をかけて、その地域の方々の要望をくみ取りながら、逆に財政側の事情をご理解いただいて落としどころを探るといった作業が必要になるので、当然時間はかかるし、費用の点もシビアに検討していかないと、思っていた以上に大変ということもよく出てきますので、これからの進め方というのは机の上で考えてというわけにはいかないと思います。ここからが正念場になるだろうと私は思っていますので、まちづくりの視点も入れつつ、各地区で関心のある方を巻き込んでいかなければいけないと考えております。</p> <p>非常に模範解答のような案が出てきて、これが全部実現できたら良いと思いますが、反面、簡単に進められることではありませんので、これからご苦労が始まるのかなと思えました。</p> <p>また、私が気になった点として、53ページに工事を分割して実施すると書かれています。これは予算の関係で一度に発注できないから平準化するということだと思いますが、注意してほしいのは、例えば建物の改修を屋根と外壁とそれぞれ分けて分割発注し4年に分けた場合、金額も4分の1ずつになるかということ、そうはなりません。逆にトータルしたら全体として値が上がります。これはご承知とは思いますが、その辺の負担増が当然発生するということを想定した上での平準化でないといけませんので、まとめて1回で実施してしまった方がトータルとして安くなるという可能性も検討しておく必要があります。例えば、足場なども分けるともちろん複数回分必要になりますが、集約すれば1回で済むので、これも費用面では大きく影響します。工事が終わってしまえばなくなってしまいうので、あまり意識されないこともありま</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>すが、仮設建物の費用というのは見ておかないと、その節約分も相当に大きいものとなってきます。</p> <p>分割工事は、前後の工事の整合性の問題なども出てくるため、あまりおすすめしない工法ではあります。むしろ平準化であれば、工事をまとめて実施し、施設自体の工事の時期をずらす方が良いと思います。一つの施設の工事はまとめて考えた方がいいと、アドバイスをさせていただきます。</p> <p>他に、ご意見、ご質問はありませんか。</p> |
| 高橋 勉 委員 | <p>今回、改修や解体という中で、今までの工事というのは解体すれば更地になってしまいますが、解体をするときに学んできたことがあると思います。どうやったら解体コストを抑えられるか等の知恵も、解体する上で学ぶ必要があると思います。</p> <p>全ての建物をコンクリートで作ることが本当に必要かどうか、つまり、1階だけはコンクリートで作って、上は木造で作るといような、複合する考え方もあっていいと思います。1階をコンクリートでつくる理由は、基礎との兼ね合いや、あるいは耐震的な考え方、そういうものも合わせて構造専門の技術者の意見も取り入れて良いのではないのでしょうか。</p> <p>本庄市については地層が非常に安定していて、それ以外の地方に比べると構造コスト、つまり地震に対するコストが非常に安価です。隣の大泉町や県内では戸田市と比較しても非常に地層が良く、ただ構造計算をやって決めるだけではなく、荷重を減らすという考え方から検討する手法もあって良いと思います。</p> <p>また、コンクリートというのは耐用年数が非常に長いですが、亀裂が入ったらすぐに外から水が入り込んでくるので、コンクリートに対してはどのように対策するか考えることも必要になるかと思います。</p> <p>今回のような本庄市の未来を左右するような計画で検討していくに当たっては、体育館一つを取っても、先ほど述べたとおり耐震という問題があります。地震が起こってガラスが割れたら、その下で避難する人たちが大きな怪我を負ってしまい、一次避難に使えなくなってしまいます。ガラスの交換や強化ガラスを入れれば良いという問題ではなく、フィルムを張って飛散を防ぐとか、そういった対策も必要になると思います。</p> |

| | |
|-------------|---|
| | <p>また、現在の体育館でいえば、床下には空洞があり、一部は利用価値があります。そういったところを防災倉庫にするなどの工夫があっても良いと思います。体育館の下は空気が通り抜けており、冬は外気が全部入ってきて、体育館に伝わるため、どんなに空調をかけても熱が逃げてしまいます。そういった対策も含めて、先ほど小松会長の仰られたように、すぐにエアコンに行き着くのではなくて、エアコンがいいのか、それとも地熱がいいのかという方針を考えていく必要があります。</p> <p>担当される方には本当に広い分野に渡るとはと思いますが、様々な意見を集めておくと良いと思います。</p> |
| <p>議長</p> | <p>これは私からお答えさせていただきます。</p> <p>今のご意見については建築の設計に絡むもので、ご指摘いただいたことは専門家も考えて設計しています。逆に言えば、要望がない限りは様々な知恵を出して、例えば木造がいいのかコンクリートがいいのかという話も含め、専門家として全部含めて検討して、一つの答えを出していくということを常に実施しています。ご心配はよく分かりますが、そこは具体的に建物をどうするかというときに、専門家にある程度任せただけであれば納得していただければと思います。</p> <p>最近では木造を推奨するという動きもありまして、その辺の技術の進歩というのは以前と違ってきていることもあります。</p> <p>実際、建てるという段階になって検討すべきことにもなってまいりますので、それは計画が具体化した段階で検討をすすめていただければと思います。</p> <p>他に、ご意見、ご質問はありませんか。</p> |
| <p>木村委員</p> | <p>私の自治会には本泉小学校がありますが、この38ページにある文化財収蔵庫はありがたい話だなと思って聞いていました。生活改善センターが小学校の前にあり、年配の方が来ていきいきサロンを開催しており、その中で出た意見として、この地域は後10年くらい経つと人口が半分程度になってしまうといつも話しており、どちらかというと観光に力を入れた方が良いのではと話しています。例えば、校舎の敷地をドッグランにすれば良いという話も出ています。ドッグランであればお金がかからないし、周りを囲うだけで済みます。近くにいずみ亭というそば屋があるので、割引券を出すとか、管理面の課題もありますが、そんな意見もあったという話を</p> |

| | |
|---------------|---|
| | <p>聞きました。</p> <p>なかなか現実的には難しいとは思いますが、お金をかけないで安くできる方法で、山地なので観光などで人に来てもらえるようになればいいと思います。</p> |
| 議長 | <p>そのような敷地の跡地をどうするかというのは、それこそ地域の方々の知恵やお考えを尊重していかなければならないと思います。これは方針が決まってきた段階で、跡地についても具体的な検討を進めるところで議論していく必要があると思います。</p> |
| 事務局 (企画課長) | <p>その議論には市も参加させていただきたいと思いますので、是非、よろしくお願いします。</p> |
| 松浦委員 | <p>公共施設ですからバリアフリーということはお考えいただいていると思いますが、現在の公共施設、例えば本庄駅の中にテラスバがあり、その中にテラスバカフェがありますが、バリアフリーになっていません。それがデザイン上のことだからということで片づけられてしまうと、非常に問題だと思います。</p> <p>実際、床が平坦ではなく、車椅子の方の移動が難しい箇所もあり、健常者であっても転んだりするというような建物が現存しています。こういう施設は他にもあると思いますので、是非こういった点も見直していただきたいと思います。</p> |
| 議長 | <p>施設ごとに個別の問題も多分あるかと思われませんが、可能な限り対応できるよう検討を進めてもらえればと思います。</p> |
| 事務局 (企画課長) | <p>市としてもご指摘の点は大事なことだと考えておりますので、ご意見を承りたいと思います。</p> |
| 議長 | <p>このような要望をどこかで受けとめていただいて、いつまでに直しますということや、ここは直すのが難しいので他の方法を考えますということなど、そういう対応をきちんとしていただければ良いと思います。</p> <p>予算的にも検討されており、財政的な不足額もあるということですが、補助金や削減額等の活用によって補填ができるという説明でしたので信用させていただきます。やはり建物に関わる費用というのは建物の数が減れば減ってはいきますが、それでは足りない場合にどうするかというと、付随する人件費を考える、運用管理の方法を考えるなどの工夫ができないとなかなか難しいです。場合によっては、市全体で機構改革を含めてやらざるを得ないという状況になるのではないかと思います。</p> <p>また、建物の問題の方がまだ易しく、今後は道路、橋、下水道等のインフラ施設も待ったなしとなってくるので、そちらが</p> |

| | |
|-------------------------|--|
| | <p>大変になってくると思います。社会情勢によっては、今回の建物の方針自体を全て見直さなければならなくなる可能性もあり、それぐらい危機感を持たなければいけません。おそらくかなりご苦勞されることになるだろうと想像はしていますが、頑張っていたきたいと思います。</p> <p>皆様から他に、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p style="text-align: center;">(質問・意見なし)</p> <p>それでは、事務局に進行をお返しします。 連絡事項がありましたら、よろしくお願ひします。</p> |
| <p>事務局 (企画課長)</p> | <p>慎重なご審議、大変ありがとうございました。また、議長を務めていただきました小松会長にお礼申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第の4番「その他」となりますが、事務局より連絡事項がございます。</p> |
| <p>事務局 (鈴木課長補佐)</p> | <p>事務局より2点、ご連絡いたします。</p> <p>1点目といたしまして、本日の会議の会議録の案につきましては、作成が完了次第、委員の皆様にご送付させていただきます。お手数ですが、お手元に届きましたら内容をご確認いただきまして、記載内容に修正等ございましたら、事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。また、会議録の送付方法につきまして、メールでの送付をご希望の方がいらっしゃいましたら、本会議後、事務局までお申しつけください。</p> <p>2点目といたしまして、次回の審議会につきましては、令和6年5月下旬の開催を予定しております。開催日、議題内容等が決定次第、委員の皆様にご連絡をいたします。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>事務局からの連絡は以上です。</p> |
| <p>事務局 (企画課長)</p> | <p>それでは、今回、皆様にご審議いただいた素案を用いまして、市議会との意見交換会、住民等の説明会に移らせていただきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の5番「閉会」にあたりまして、江原副会長よりご挨拶を頂戴したいと存じます。</p> <p>江原副会長、よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>江原副会長</p> | <p>年度末のところ、ご苦勞様でございました。</p> <p>そして、中身の濃いご審議、本当にありがとうございました。</p> |

様 式

| | |
|---------------|--|
| | た。御礼を申し上げ、第4回本庄市公共施設等マネジメント推進審議会を閉会といたします。 ありがとうございました。 |
| 事務局 (企画課長) | ありがとうございました。 |